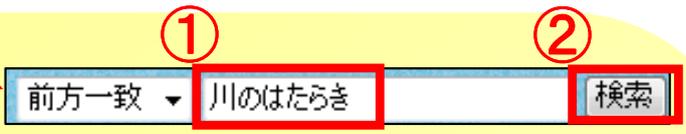


# 川のはたらきについて調べよう

小学5年 理科 単元：流れる水のはたらき

川と地形の関係や川の流れる様子などについて、自分で検索して調べる。

## ニューワイド学習百科事典



① 検索ボックスに「川のはたらき」と入力  
→② [検索]ボタンをクリック

**\*\*かわのはたらき【川のはたらき】**

川の流れるには、**侵食作用**・**運搬作用**・**たい積作用**などのはたらきがあり、それらのはたらきによってさまざまな**地形**がわちづけられる。

**【侵食作用】**川の流れるは川底(河床)や川岸(河岸)をつくる物質をけずるはたらきがありこれを侵食という。侵食の強さは水量が多く流れが速くしたがって**こう配**も急で流れが速く**土砂・れき**が多いほど大きい。こう配の急な川の上部でいちじるしくとくに川底をけずるはたらきが強い。ため谷の形はV字状になりこれを**V字谷**という。

**【運搬作用】**侵食によってけずられた物質は川の流れるによって、**上流→中流→下流**へと運ばれる。このはたらきを運搬という。

**【たい積作用】**川の流れるが運搬することができる土砂・れきの大きさや量には限度があり運搬能力以上に土砂・れきをふくむと、そのあまったぶんを**沈積**させる。このはたらきをたい積といい川のこう配がゆるやかになる所におこる。**山地**と**平野**の境にできる**扇状地**がその例である。また川が海や**湖沼**に流れこむ所でも急に流速が減少するためたい積がおこり、**三角州**ができる。さらに川の水量が急激に減少した場合にもたい積する。**洪水**のあとにできる**自然堤防**はその例である。

**【川の蛇行】**川の道筋に障害物があると流れは一方の川岸に強く当たり、つき当たった流れはその反動で下流の反対側の川岸につき当たる。流れがつき当たっている部分では侵食がはげしく、その対岸では流れがおそいので土砂がたい積する。このようにして川はだいたい曲がりくねりながら流れるようになる。これを川の**蛇行**という。ついでに川が短縮して**三日月湖**を形成する。日本では北海道の**石狩川**などに蛇行が見られる。

川と地形の関係などの説明を参照し、さらに上流、中流、下流などの特徴を学びます。さらに実際に川が流れている様子を、画像で見ることができます。



- ・ 解説は、はじめにその項目のあらましを説明し、▶ 印以下に詳しい解説が続きます。
- ・ 項目の理解を助ける[コーチ]は、その項目の成り立ちや因果関係の説明で、より深く正確な知識が身につきます。
- ・ 解説文中の青文字はリンク項目で、クリックでリンク先を表示できます。

### 使い方例

- ◆ 川のはたらきについて児童が自分で検索して調べ、その内容をまとめる。
- ◆ 先生がプロジェクトなどで提示し、児童に解説する。